

令和3年度第1回三条市幼児教育推進会議録（概要）	
日 時	令和3年6月9日（水）14：00～15：30
会 場	市役所栄庁舎3階 大会議室
出席者	委 員：中野会長、石黒副会長、唐沢委員、本間委員、大竹委員 近藤委員、星野委員 （欠席委員）小林委員、長谷部委員、五十嵐委員 事 務 局：栗林教育部長 子育て支援課…平岡課長、梨本補佐 相場子どもの育ちサポートセンター長、 樋山主任、伊藤主任、竹中幼保小連携推進員 小中一貫教育推進課…熊倉課長、新保指導主事 報道機関：なし 傍 聴 者：なし
会 議	内 容
中野会長	【開 会】 【委員交代報告】 幼児教育推進会議の委員については、令和2年度から2年間の任期でお願いをしている。このたび、三条市中学校長会推薦の栄中学校長の土田委員が異動になり、新たに本間康夫様の御推薦をいただいた。 また、役職の変更により三条市 PTA 連合会推薦の坂井委員が退任され、新たに小林豊様の御推薦をいただいた。お二人の委員には、御手元への委嘱状の配布をもって交付に代えさせていただく。
相場センター長	
栗林部長	【挨拶】 本日は御忙しい中の御参集、また、日頃から当市の幼児教育施策に御理解、御協力を賜り、厚く御礼を申し上げたい。 昨年度に引き続き委員を御勤めいただき皆様、また、新委員の皆様におかれましてもよろしく御願ひ申し上げたい。 さて、三条市は昨年度から続く新型コロナウイルスの感染拡大により5月には、小中学校での休校や保育園で休園するなど様々な活動に大きな影響を受けた。感染症の影響が続く中、小中学校及び幼児施設の職員の皆様は、日頃、子どもたちの安心、安全に配慮しながら学校や幼児施設の運営をしていただいている。また、保護者の皆様にも、御家庭でのお子様の心理的な面での寄り添いなど今まで以上に御配慮をされていると感じている。 多くの皆様が三条市の子どもたちの日常に心配をいただき、日々接し

中野会長	<p>ていただいていることに改めて感謝を申し上げたい。</p> <p>市としては、こうした状況の中でも、幼児期の教育は、子どもたちの人格形成の基礎を育てる上で極めて重要な役割を担っているという認識の下、平成 28 年度策定の「第 2 次三条市幼児教育プラン」により、「生きる力の基礎を育てる」ことを目標として、令和 4 年度までの 7 年間の取り組みを進めているところである。</p> <p>本日は、本事業の昨年度の実施状況と今年度の計画を示し、日々、幼児教育の現場で子どもたちと向き合っておられる皆様からの忌憚のない御意見をいただきたい。</p> <p>【委員及び事務局自己紹介】</p> <p>三条市 PTA 連合会の小林委員、保護者代表長谷部委員、五十嵐委員 本日欠席</p>
相場センター長	<p>【子育て支援課職員の自己紹介】</p> <p>栗林教育部長 平岡課長、梨本補佐、相場センター長、伊藤主任、樋山主任、竹中幼保小連携推進員</p> <p>【小中一貫教育推進課職員の自己紹介】</p> <p>熊倉課長、新保指導主事</p>
中野会長 相場センター長	<p>【出席者数、資料の確認】</p> <p>10 名の委員の内、7 名の委員が出席となっている。三条市幼児教育推進会議要綱第 6 条第 2 項の規定により半数以上の委員の出席があり、本会議は成立している。</p> <p>資料の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第 1 回三条市幼児教育推進会議次第」 ・「幼児教育推進会議委員名簿」「座席表」（両面印刷） ・「令和 2 年度三条市幼児教育推進プラン実施状況」 ・「令和 3 年度三条市幼児教育推進プラン実施計画」 ・参考資料として「幼児教育推進事業 令和 3 年度実施状況アンケート結果」 ・冊子「三条市幼児教育推進プラン（第 2 次）」 <p>【三条市幼児教育プラン（第 2 次）について、事務局から説明】</p>
中野会長	

平岡課長	【三条市幼児教育推進プランについて説明】
中野会長	【議題（１）令和２年度幼児教育推進プラン実施状況について、事務局から説明】
相場センター長	【令和２年度幼児教育推進プラン実施状況について報告】
唐沢委員	【質疑・応答】 3 ページ考察の中で、取組が難しかった項目もあったが、おたよりや活動の様子を動画に撮り保護者に回覧する施設があり、よい取組だと思い、自分の学校でも取入れたいと思った。比較して、22 ページの考察の中で開催時期や内容を工夫して取組む施設もあったが、交流ができなかったとあり、どんな工夫があったのか。
竹中幼保小推進員	年度始め休校があり、12 月頃は交流活動の中止期間があった。大勢で集まらないで分散しての交流やバスを使用しないで歩いて学校や幼児施設に訪問するなどして交流活動を実施した。
中野会長	動画の場合、ホームページにアップするのか、それとも専用のサイト等を使用するのか。
竹中幼保小推進員	DVD を編集して、保護者の方には回覧し、交流施設へは送付して観ていただいた。
中野会長	唐沢委員の御指摘にもあったが、具体的な好事例をぜひ、示していただけるとありがたい。 8 ページ、年中児発達参観について、昨年度に引き続き参加率が上がっているのがアンケートの数値からわかるが、実際保護者から肯定的な反応が増え、参観を積極的にやっているとメリットがあるということが保護者の方に周知されているのか、組込まれているから自動的にやっているのか、市としてどのように分析しているのか。
相場センター長	保護者の方からは、理解されているということで参加率が上がっていると認識している。引き続き大勢の方に参加していただけるよう取組をすすめていきたい。

中野会長	数値から見えてこない保護者の反応を教えてください。
近藤委員	参観では、自分のお子さんがこの場面のここが苦手なんだということに気付くことができ、保育士、保健師、臨床心理士と子どもの姿を共有し、相談できる取組として共通理解されている。
中野会長	実際の保育の場面を見ながら保育所、保護者の方、保護者を支援するスタッフが同じ姿を見ながら情報を共有できる参観として理解されている。
大竹委員	保護者の方もお子さんの姿をじっくり見る機会が少ないので、得意不得意が把握でき、個別面談では、専門的な立場からお話いただけるので、大変よい取組である。
栗林部長	発達参観が始まった頃は、取組そのものがどうなのかという話があり、年数を経て、保護者の理解が進む中で、様々な立場の方たちが、同じ場面、同じ気持ちを共有することで、その後の就学相談がスムーズになったことも非常に大きな成果であった。
中野会長	年中児発達参観だけでなく、若者総合サポートシステム等、様々な内容が絡み合いよい方向に進んでいると感じている。子どもがよりよくなっていくことが一番大事であると思うので、子どもを取り巻く家族の負担、相談できる体制等を周知してほしい。
星野委員	年中児発達参観の実施時期について、年中児がいいのか年長児がよりいいのかということを感じている。昨年、自分の子の参観を見ていても4月と3月生まれで発達の違いを感じ、時期はどのように設定しているのか。
平岡課長	年中児を対象とした意図は、年中児発達参観を始める際に相当検討された。参観が始まる以前は、お子さんの発達状況の確認は、3歳児健診が終わると小学校入学前の就学児健診までなかった。そこで、社会性が芽生える4～5歳になると、基本的な生活習慣が身に付き、集団生活の中で友だちや仲間を意識した行動が見られるようになるこの時期に、保護者の方から集団の中での子どもの様子をみてもらい、成長した姿や伸ばしたい姿を確認し、年長児の1年間で就学に向けての支援を実施する

中野会長	<p>ことができることから年中児に設定した。</p> <p>年長になると就学児健康診断があるのでその前に先立って、ある程度園生活が営まれるようになり、社会性の発達が見られる年中児というところで区切っている。月齢による言葉、身体的な能力、社会性については、総合的に加味しながら参観される方は御覧になられている。</p>
中野会長	<p>【議題 (2) 令和2年度幼児教育推進プラン実施状況報告について承認】</p>
相場センター長	<p>【令和3年度幼児教育推進プラン実施計画について説明】</p> <p>【質疑・応答】</p>
唐沢委員	<p>昨年度の報告の中で、運動遊び、自然体験活動、研修会の実施等が、中止になっていること、また、工夫されて実施されていることがわかった。今年度については、中止にすることは仕方がないと思うのか、配慮、工夫をしてやっていくのであれば、各園にまかせるのか、課としての策はあるのか。</p>
平岡課長	<p>実施計画の中で画一的に一定の策を示すことは難しいことだと考えている。新型コロナウイルス感染拡大の対応については、その時々が発生状況に応じて中止にしたり、縮小したり、工夫をして対応してきた。</p> <p>一つ一つの対応策を計画の中でお示しできないのが残念だが、その時々状況を踏まえて、実施できる方向を模索していきたい。</p>
唐沢委員	<p>先程報告のところで、私の質問に対して委員長から各施設の取組について具体的な好事例を啓発したらどうかとお話があったが、私も同感である。</p> <p>この状況下で中止になっていることがたくさんあると思うが、課としての策が何も示されていないのはどうなのか。感染症対策は、3密を避けるなどの対応ができる。1 ページの大崎山自然体験クマの警報発令による中止については、仕方がないことだと思う。私の学校も下田なので戸外での春の活動をすべて中止にした。しかし、感染症については、その中でも実施していく工夫をしていかなければならないという認識である。それを現場にまかせるのか、課として推進していくのかというところが質問の意図である。</p>

中野会長	何か武器を持たなければ戦うことができない状況の中で、大学では、ICT 環境が整えられ、小学校では、GIGA スクールが導入された。幼児施設では難しい状況だと思うが、ガイドラインの中で保育の質の向上、保護者や小学校の情報共有、動画撮影の編集など、ICT 環境を整備していくことを検討していただきたい。幼児施設では現在、ICT がどのような整備環境になっているのか。
平岡課長	各保育所では一定の環境は整っている。具体的には、Zoom を使って各施設から双方向型のオンライン研修を実施している。各施設の取組みの工夫についても、毎月私立園長会議、公立所長会議の際に、例えば運動会、遠足等について具体的にどのような工夫をしていくか相談し進めているので、一定の画一的な取組を御示しすることは難しいが、基本は実施の方向で考えている。
中野会長	市でサービスを使っての情報共有を図っていくなど、小学校との連続性を視野に入れていくのであれば、幼保小の情報共有でのクラウドサービスの構築、また、教育の分野では DX（デジタルトランスフォーメーション）が始まろうとしている。従来 of 共有と併せて、情報共有、負担軽減の部分での ICT 活用の検討を模索していく時期だと思うので御検討を御願いたい。
平岡課長	いただいた御意見を踏まえつつ、各施設の意見を受け止め来年度に活かしていきたい。
中野会長	【令和 3 年度三条市幼児教育推進プラン実施計画について承認】
平岡課長	【事務局】 本日は、様々な御意見をいただいた。年中児発達参観における子どもの生まれ月については、個別の相談時に十分に配慮していきたい。また、ICT の来年度に向けての環境整備、その他の御意見についても今年度の取組に活かしていきたい。
中野会長	【閉会の挨拶 熊倉小中一貫教育推進課長】

熊倉課長	<p>【挨拶】</p> <p>皆様から、「令和2年度三条市幼児教育推進プラン実施状況」「令和3年度三条市幼児教育推進プラン実施計画」につき貴重な御意見をいただきました。小中義務教育学校を担当している小中一貫教育推進課では、三条市学校教育プランを作成し、六つの重点を示している。その一つが、幼保小連携の推進である。その内容として二つの柱があり、一つは幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を基にした「子ども共通理解」、もう一つがスタートモデルカリキュラム等を活用した「学びの連続性の確保」である。今日の会議で、それらに関わる具体的な状況や今年度の方向性を確認した。</p> <p>学校では、幼稚園、子ども園、保育所(園)で育まれた資質・能力を踏まえて、教育活動を工夫し、子どもたちが主体的に個性を發揮しながら学校生活を送ることができるように、幼保小の一層の連携に向けて、小中一貫教育推進課としても促していきたい。</p> <p>【終了】 1時間20分</p>
------	--